


# たが

こんにちは   
議会です!!



輝いている新成人

- ・ 12月定例議会 ..... 2
- ・ 各常任委員会審議報告 ..... 4
- ・ 一般質問 4議員が問う ..... 6
- ・ がんばってます ..... 10

## 第112号

平成19年2月1日発行  
発行多賀町議会  
編集 広報発行対策特別委員会

滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324  
〒522-0341 ☎ 0749 (48) 8126  
FAX 0749 (48) 0157  
有線 2-2011

ホームページ <http://www.tagatown.jp>  
E-mail [gikai@tagatown.jp](mailto:gikai@tagatown.jp)

# 地元産材を使った 大滝小学校屋内運動場 2月完成へ

旧体育館解体工事、駐車場整備などを含めて  
総額1億6664万円

**12月  
定例会  
12日~21日**

## 請負契約の変更

◎多賀町立大滝小学校屋  
内運動場新增改築工事  
旧体育館の解体、その  
跡地への駐車場整備、新  
体育館周辺の外構工事な  
どに1964万円を追加  
し、1億6664万円に  
変更。

12月定例会は、12月12日から21日までの日程で開かれた。同意3件、条例の制定及び一部改正5件、請負契約の変更2件、18年度補正予算5件、その他5件が原案のとおり可決された。継続審査中であった請願1件は、意見を付して採択した。意見書1件を提出した。

## 条 例

助役から副町長へ  
◎多賀町副町長の定数を定める条例  
副町長の定数は1人とする。これまでの助役を副町長とし、町長の権限に属する一部を副町長に委任できる。19年4月1日より施行。

◎住宅団地造成事業特別会計  
40万円を追加。

◎水道事業会計  
77万円を追加。

## 18 年度補正予算

◎一般会計  
799万円を追加。

◎介護保険事業特別会計  
160万円を追加。

## 75歳以上の高齢者医療制度 20年4月よりスタート

◎滋賀県後期高齢者医療  
広域連合の設立  
75歳以上の後期高齢者の医療は、20年4月から独立した制度を創設し運営する。滋賀県内のすべての市町が加入する広域連合が運営主体となる。



地元産杉材を用いた  
大滝小学校屋内運動場

## 同 意

◎多賀町固定資産評価審  
査委員会委員  
川相 平塚 喜三氏  
77歳

◎多賀町多賀財産区管理  
会委員  
久徳 伊藤 政男氏  
65歳

大岡 山本 登英氏  
60歳

四手 植野 慎一氏  
71歳

## 継続審議中の多賀中学校に完全 給食を求める請願書 意見を付して、全員賛成で採択

### 請願要旨

全国の公立中学校の完全給食実施率は77%に達しているが、多賀中ではミルク給食のみである。食物アレルギー等、食に対する課題が山積している今日、学校給食の果たす役割がより重要になっていく。

多賀小・大滝小で実施されている給食は、子どもたちだけでなく父母にも大変喜ばれている。こうした給食を多賀中でも実施し、豊かな食生活、食文化を身につけさせることは行政の責務であり、保護者の願いである。

### 意見要旨

県下の中学校では、約半数で給食が実施されており、多賀中でも実施されることは望ましい。しかし、中学校の給食は小学校とは異なり、全国的にさまざまな課題や問題を指摘されている。その他市町合併のゆえ、幼稚園や福祉関係などへの対応も含め、総合的かつ多角的に十分な検討が必要である。

## 全国森林環境税の 創設を求める意見書

### 意見書要旨

森林のもつ公益的機能に対する新税として「全国森林環境税」を早急に創設し、森林を有する山村地域の市町村が森林の維持、育成のための財源を確保できるようにすることを強く求める。

提出先  
内閣総理大臣・総務大臣  
財務大臣・農林水産大臣  
環境大臣・衆議院議長  
参議院議長・地元選出国會議員  
(賛成多数にて提出)

## 新年のご挨拶



議長  
木村 晴彦

皆様には、お健やかに、希望に満ちた平成19年のすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

多賀町の議会活動に旧年中は、ご意見やご指導を賜り心よりお礼申し上げます。

本年度も国全体で構造改革が進行すると考えられますが、本町の財政運営にも、国の三位一体の改革で補助金や地方交付税の削減が避けられないばかりか、医療等の福祉にも構造的な改革が進みます。

一方、地方分権による権限委譲で補助金制度から交付金化が進みます。

交付金の活用で各地方が地方の実情に合った独自の地方の創出が求められています。

彦根市と犬上3町との合併は、現在では不調で足踏み状態でありますが、県の審議会は特例法に基づき、行財政基盤強化は不可欠であるとして、再度合併の気運を促しております。

多賀町議会は、議会の役割をしっかりと果たせるよう開かれた活力ある議会運営に議員一丸となつて努めます。変わらぬご指導とお力添えをお願い申し上げます。



調理室の風景

# 総務

12月14日に平成18年度補正予算等の審議及び11月24日に閉会中の審議をした。



楽しい給食風景

## 開会中の審議

### 平成18年度

#### 一般会計補正予算

主な支出

- 小・中学校の修繕費など 214万円
- 文化財を守る獣害対策費 207万円
- 合併浄化槽補助金 215万円
- 保健センター燃料費 133万円

**町債（借入金）**  
町債に対する考えは、増えないよう気をつけながら、内部経費を削減して、住民サービスに回したい。

有料化のねらいは、廃棄物の減量、排出の責任意識の向上、毎月の収集で長く保管する必要がない。持ち込むことがいらないなど。  
委員からの意見  
・有料化に住民の理解が得られるのか。反対意見はないのか。  
・不法投棄対策は、資源ごみの換金など、費用を削減する方策は、これらの意見によって環境生活課で再検討することとなった。

#### 軽度障害児対策

**問** 軽度障害児対策は、小学校入学時、障害の程度がわかりづらいが、サポーターを付けるなどの処置を講じている。

**答** 軽度障害児対策は、小学校入学時、障害の程度がわかりづらいが、サポーターを付けるなどの処置を講じている。

#### 朝食状況

**問** 小学生の朝食について現状は、ほとんどの生徒が食べているが、その内容は不確定部分もある。学校としては早寝・早起き・朝ごはんを指導している。

**答** ほとんどの生徒が食べているが、その内容は不確定部分もある。学校としては早寝・早起き・朝ごはんを指導している。

滋賀県後期高齢者医療広域連合の設立について  
新たな\*高齢者医療制度の創設にともない、県内のすべての市町が広域連合を組織して、事務処理を行う。平成20年4月1日から施行される。

\*高齢者医療制度とは、高齢化の進展にともない医療費の増大が見込まれる。その負担について若い人が高齢者を支えている。十分な検討が必要であり、継続審議とした。

請願第8号 多賀中学校に完全給食の実施を求める請願  
十分な検討が必要であり、継続審議とした。

# 産業建設

12月14日に平成18年度補正予算等の審議及び11月15日に閉会中の審議をした。



手打ちでおいしい多賀のそば

## 開会中の審議

### 平成18年度

#### 一般会計補正予算

主な支出

- コミュニティ助成事業 250万円
- 佐目地区 250万円
- 獣害対策共同推進補助 5カ字対象 150万円
- 小口簡易資金損失補償 284万円

平成18年度水道事業会計補正予算  
大谷配水池に加圧所新設 2500万円  
企業債 2500万円  
貯蔵品購入限度額補正 213万円

#### 自治宝くじ

**問** 自治宝くじ補助とは、実施主体は町、自治会等で特色あるコミュニティ活動にかかる施設、設備の整備に対し助成。

**答** 現状では余裕はない。今後の施設改善整備に自分の配水量確保を加味し検討したい。

#### 特産品多賀そば

**問** そばの作付面積が増加している。付加価値を考へては、今後乾燥調整、乾麺生麺などの研究もJAで考へられている。

**答** 今後乾燥調整、乾麺生麺などの研究もJAで考へられている。

## 閉会中の審議

### 上水道施設の現状と将来的課題

上水道施設の現状と将来的課題調査は、平成17年2月、本委員会に中間報告の施設改善基本計画に基づき代表施設の稼働状態と周辺状況を中心に、5カ所の現地調査を行った。

- ◎水質基準の高度化及び地震・集中豪雨に耐えられる施設整備。
- ◎効率的な給水エリアの再編。
- ◎浄水ろ過方法の検討。
- ◎減菌システムの改善。
- ◎長期運営では、コストに配慮した部分的・広域的な検討。
- ◎施設安全面では、県の指導項目のクリア。
- ◎周辺を含む施設の緊急改修現場一カ所。
- ◎維持管理や非常時の対応に各施設への道路整備を必要とする。



老朽化した上水道施設

町政の  
ここが  
ききたい

# 一般質問



**野村議員**  
午後6時頃になると、幹線の国道8号が渋滞し旭森小学校前、306号外町、フタバ前等各道路共に1km以上渋滞している。

リヂストン彦根工場東側の土田地先までの区間は、平成11年11月に、都市計画の最終決定がされているが、具体的な事業化等は未定。  
土田地先から野洲市までの区間は、国道8号の交通状況等調査し検討される。

野村 吉晴 議員

**町長**  
米原バイパスから佐和山町国道8号交差点までの残り4.7kmを関係機関、地元自治会と協議調整を進めており、今後10年以内の供用を目指している。予算は約240億円で、彦根市佐和山町から、ブ

## 国道8号線バイパスの計画は土田地先までは、都市計画上最終決定している

—町長—



渋滞する国道8号外町交差点

## 町職員の飲酒運転をした時の 処分基準は 飲酒運転で事故は免職

—町長—

野村議員

都道府県と政令指定都市の6割以上が、福岡市の3児死亡事故後、飲酒運転をした職員の処分の厳罰化に踏み切り、23の自治体が「飲酒運転は原則免職」という厳しい規定になっている。  
民間企業でも、原則解雇が多くあるなかで、公務外の飲酒運転による事故等は報告義務はない市もあるが、多賀町ではどのような処分基準になっているのか。

町長

飲酒運転して人身または物損等の事故を起こしたときは免職、事故を起こさなくても飲酒運転をしたことが明らかになっても、免職または停職。  
運転をする者に飲酒を勧めたり、飲酒運転を知り同乗したときは停職。  
処分の基準を明らかにすることによって職員の意識改革を促し防止効果を高める。  
町民に対しても、啓発に努める。



久保 久良 議員

久保議員

町内中小製造企業の中には工場が手狭となり、新たな場所に工場建設のための土地を求めたいという企業がある。

中小企業庁の集団化への支援事業を活用して、新たに立地を希望する企業の要望に応えるべきではないか。

企画課長

中小企業が新たに土地を求められた場合、工場等が建設できる未開発地が約5haあり、企業より要請があれば、その中で対処したい。  
また、複数の企業より要請があれば、集団化への指導をしていきたい。  
今後、中小企業の土地需要動向を注視するとともに、住宅地、商用地の確保も考え、人口増加のための適切な土地利用を図りたい。

## 町内の中小企業への対応は企業の土地需要動向を注視したい

—企画課長—

## 企業への支援体制は 情報交換の場を適宜設けたい

—農林商工課長—

久保議員  
企業との関係を密にするため、行政自ら企業の情報や要望を得られるよう懇談会などの場を日常的に持つことが必要である。

しかし、商工と観光を担当する職員は1名であり、工業の方まで手が回らないのが現状である。  
職員体制を含めて、企業への支援体制は、

農林商工課長

職員体制については、現状でベストを尽くしたい。

また、企業と意見交換する場を持つことは大変重要であるが、毎年定期的に実施されていないのが現状である。  
今後は、情報交換を行う機会を適宜設けること



「多賀やまびこクラブ」4月設立に向け準備中

## 山間部に案内板の設置を 必要最小限で設置を検討する

—農林商工課長—

久保議員

春、秋の行楽シーズンに多賀の山々を訪れる人は多い。訪れて、山間部で案内板の少なさを感じられると思う。今後、案内板の設置を図っていくべきではないか。

農林商工課長

案内板がどこにどのようなのが必要か現地調査をする。  
乱立することなく、効率よく必要最小限で、環境を損ねない範囲においての設置を検討したい。

## 多賀やまびこクラブの設立準備は 4月29日設立に向け、取り組んでいる

—社会教育課長—

久保議員

総合型地域スポーツクラブ「多賀やまびこクラブ」が19年2月に設立すると聞いている。確実にスタートできるのか。

多賀町の実態にあったクラブになるよう考えられているのか。

社会教育課長  
19年2月設立を目指していたが、より良いクラブにする。

19年2月設立を目指していたが、より良いクラブにする。

## ビジョンは実現できたか 皆さんの協力で 数多くの事業が完成した

—町長—

辻 孝太郎 議員



長年の課題であった、役場前に「ふれあいの郷」を完成した。強い反対もあったが、土地改良事業の完成と同時に広域農道の完工。少子化対策として、「ささゆり保育園」と「たきのみや保育園」の竣工。下水道事業は一部山村の方は工事中。国や県へ再三の陳情と、皆さんの協力で数多くの事業が完成した。

**辻議員**  
町長が初当選した時に描いたビジョンの実現と、財源の確保に対する外交努力ができたか。

**町長**  
最初の4年間は、継続事業をなし遂げる責任として工業団地、博物館、図書館を完成した。次に佐目小学校と多賀小学校の統合をし、佐目小学校の跡地に介護サービス施設「清流の里」を誘致した。



完成した圃場整備、広域農道、ささゆり保育園

## 廃棄物処理の広域化計画の情報開示を 適切な時期に住民への情報提供する

—町長—

山口 久男 議員



**山口議員**  
2市4町の一般廃棄物処理の広域化計画はどこまで進んでいるのか。彦根市に広域ゴミ処理施設の建設計画があると聞くが、場所を含む施設計画、関係自治体の住民への情報提供、財政負担はどうなるのか。

**町長**  
リパースセンターと彦根市のゴミ処理施設は老朽化し耐用年度が平成22年頃と言われている。合併前の1市7町が湖東地域広域化事業促進協議会で、ゴミ処理に係る基本的な協議を進めている。

コンサルタント会社が選定した施設候補地を、行政担当課を通じ交渉中。情報提供は施設の建設地が決定後、関係市町と歩調を合わせ適切な時期に住民への情報提供をする。

## 新型交付税導入の影響は 総額確保に 関係団体に働きかける

—助役—

**山口議員**  
平成19年度から、面積と人口を基本に算定する新型交付税が導入される。人口の少ない多賀町は不利になると考えるが。

**助役**  
算定全体の10%が導入されるが、多賀町は山林が86%を占め不利になると予測される。総額確保に関係団体に働きかける。

**福祉保健課長**  
高齢者の予防接種は、予防接種法に基づいて公的関与のもとで実施。乳幼児・学童の予防接種は、日本小児科学会で接種法に含めるか検討中。学会の見解や法の改正を待つ必要がある。

## 子どものインフルエンザ接種 法改正を待つ必要がある

—福祉保健課長—

**山口議員**  
子どものインフルエンザ予防接種は年2回必要で、1回3千円程度で全額自己負担である。高齢者への補助と同額の自己負担千円を子どもにまで拡大できないか。

**農林商工課長**  
二ホンジカの捕獲・駆除頭数については3月中旬の様子をみて、来年度は本年度より以上の駆除を考えている。野生獣と共存していくのに絶対的な方法はない。いろんな対策を組み合わせる必要がある。

**山口議員**  
サル、シカ、イノシシによる農作物への被害が拡大している。有害獣対策はとられてきたが、二ホンジカの被害は甚大で、捕獲・駆除の頭数を増やしてほしいとの声を聞く。多賀町の割り当て分50頭は使ってしまったが、町独自でさらに駆除数を増やせないか。



シカによる立木被害とテープ巻対策

## 予算編成に町長の意向は 助役と相談して進めている

—町長—

**辻議員**  
予算編成に義務的経費など動かせない部分もあるが、町予算の中で町長の意向はどの程度反映されているか。

**町長**  
後のことは助役を中心とした財政局が、各課長に面接し、各課の要望等を検討している。

## 多賀町の将来像は 広域行政での対応も必要

—町長—

**辻議員**  
多賀町の将来像を示し、町民に夢を与えられるか。

**町長**  
多賀町が合併しないでも将来もやっていけなくもないが、広域で互いの力を出し合って大きな事業に取り組んでいく必要がある。現在道州制が論じられている時代であり、多賀町がこのまま孤立状態ではやっていくことは良い方向ではない。将来観光事業を、住民皆さんと考えていきたい。

議会を傍聴  
して下さい  
今回は3月7日  
予定です。



藁細工名人 田中 昭蔵さん 富之尾

藁細工をやりかけたのは、30年程前から大滝神社の縄づくりをしたことからです。

最初は縄だけ作っていましたが、10年ぐらい前からは、干支にちなんだ動物の形を作りかけました。

蛇の干支飾りを作ったのが最初で、同好の人達との交流会でいろいろの動物の飾りを互いに研究しあってだんだんと旨くできるようになりました。県主催の「農の匠」の

認定も受けました。田中喜一さん、藤野幸夫さんと愛好会をつくっています。

町内だけでなく近隣の町にも、公民館活動の一端として指導に行っています。

最近も多賀小5年生の6人に、縄ないの指導をしましたがお礼の作文をくれたのが嬉しく、私の宝物になりました。これからも皆さんに喜んでもらえる物を作っていきたいと思っています。

# がんばってます！



パオパオを主宰する 宮野 由紀絵さん 四手

多賀町に、「子育てサークルパオパオ」ができたのは、今から9年前。親子が気軽に集まれる場所を作ろうと、お母さん達の手で作られ、現在49組の親子が参加してくれています。

親子の手作り遊びや絵本の読み聞かせ等を行っています。中央公民館、図書館、健康推進委員の皆さん、町内の子育て支援サークル「たんぽぽ」さん等、町内の方にも協力をしていたいただき、活動させてもらっています。「パオパオに行ったら良かった」と言ってもらえ、パオパオから帰る時には親子とも笑顔で帰ってくる、それが一番嬉しい事です。

日本の50年後は、男性84歳、女性90歳と約5歳寿命が延び、人口は、3割減少、0歳から14歳は5割減、65歳以上の高齢者は総人口の4割と膨らむそうです。

## 編集後記

多賀町の百年前は、2200世帯で、1万1160人、一世帯平均5人で、現在2639世帯、8336人、一世帯平均3人と核家族化されています。

今後医療、介護、年金等は、後代負担が増え何回か制度の見直しが必要となります。

今年も親しまれる、読みやすい議会だよりを目指し努力します。

野村吉晴記